

国民が主権者で
あり続けるために

私たちはこの国をどんな国にしたいのか。
何事も力で押し通す国など望んでいない。
自由にモノが言える国、敵を作らない国、
独立主権国家、そして何よりも非戦の国をめ
ざしてきたはずです。

立憲主義と民主主義を回復し、国民が主権
者であり続けるためにそれぞれができること
を続けましょう。

私も全国の皆さんと共に違憲訴訟という手
段も使い戦争法廃止に向けて闘い続けます。

今こそ一人ひとりが
自立した市民として主
体的に行動するチャン
スです。



弁護士・伊藤塾塾長
伊藤 真さん

戦争によって
人生をめちゃくちゃに
されたくない

高校生、大学生をはじめ私たち若者はこ
れから先、半世紀以上を生きていくことにな
ると思います。自分の人生を、戦争によって
めちゃくちゃにされたくありません。これから
生まれてくる新たな命にも責任があります。
だから、戦争をできるようにする法律には断
固反対します。

憲法無視をこれ以上許さないため、「不断
の努力」(憲法12
条)を続けていき
ましょう。



若者憲法集会実行委員会
黒津 和泉さん

私たちは 戦争法の廃止を訴えます

反対運動のエネルギーを
広く強くして
「安保法制」の廃案を

違憲の安保法案が民意を無視して強
行されました。これをそのままにすれ
ば、日本国憲法の平和主義、立憲主
義、そして民主主義は侵害されたま
ま、国の形が大きく変わってしまいま
す。法案反対運動に示した国民のエネ
ルギーをさらに広く強くして、「安保
法制」の廃止
をなし遂げま
しょう。



専修大学教授
広渡 清吾さん

誰の子どもも
ころさせない

私たちは、何のために働き、何のために子
どもを育て、何のために生きるのか。今回の戦争
法案では、そのことが突きつけられました。

戦闘行為は、自衛隊の中で完結するものでは
ありません。私たちの日々の働きから生み出さ
れるものが、戦争に使われるのです。兵士の命
についても同じです。誰かを殺すために生きる
なんてことは、もう終わりです！

戦争協力反対の声を
上げ、手を取り合いま
しょう。



安保関連法に
反対するママの会
西郷 南海子さん



自治労連
日本自治体労働組合総連合

〒112-0012 東京都文京区大塚 4-10-7 自治労連会館
TEL 03(5978)3580
FAX 03(5978)3588